



SPD

Security Partner of Days

SPD Co.,Ltd. Company Profile



BRAND STATEMENT

安心安全は、
わくわくだ。

SPDの警備事業は“明日の夢を創る”仕事です。

安心・安全が守られるからこそ、
世界に夢が生まれ、わくわく暮らしていける。
よりよい社会を、24時間365日。SPDです。

SPD

Security Partner of Days

C O N T E N T S

ブランドステートメント	01
事業内容	
01.常駐警備事業	03-04
02.イベント・交通警備事業	05-06
03.コンサルティング事業	07
会社概要	
概要/事業所	08
役員紹介/沿革	09
主な契約先	10
社長メッセージ	11



01

RESIDENT SECURITY BUSINESS
常駐警備事業

警備の種別の中で、最もお客様に寄り添い広範囲にわたって安心安全を守るのが常駐警備です。オフィスビル、商業施設、宿泊施設等で最初に会うのが私たちであり、私たちの印象が施設やお客様の印象になります。警備業でありながら、サービス業の一面も持ち合わせているのが常駐警備です。IT化が進んでいる現在でも、常駐警備にはマンパワーが必要とされており、機械では出来ないお客様への温かい対応と警備本来の使命である安心安全を提供致します。オフィスビル、商業施設、宿泊施設、医療施設、教育施設など、様々なセキュリティ面での問題に対し、SPDでは、お客さまが求める警備ニーズを調査・分析し、蓄積されたノウハウから最適な警備プランをご提案いたします。また必要に応じて各種資格（施設警備、雑踏警備、防火管理者、自衛消防業務など）を保持した警備員を配置いたします。物流倉庫、高層マンションなどが急速に増えていく中で、安心安全を基盤として、ホスピタリティとあらゆる場面でも対応できるフレキシブルな警備が求められています。会社、工場、ビル、デパートなど、数多くの人が集まる場所に常駐し、出入管理や巡回管理、関係車両などの交通誘導のほか、火災や盗難の防止など多岐にわたる警備業務を行います。あらゆる懸念事項を事前に発見解決し、お客様と社員様の安心安全を確保いたします。

巡回業務

巡回の目的は大きく分けて3つあります。

①秩序を維持するための防犯巡回

お客様施設における不審者、不審物、不審車両等の発見に努めます。

②災害や火災等から守るための防災巡回

万が一発生した事案に対し被害の極小化を図るため、火の元確認や消火機器・防火扉のチェックを行います。

③施設の維持管理のための巡回

お客様施設を万全な状態で維持していくため、建物の異常（破損、落書き、照明切れ等）を把握します。



防災センターでの監視業務

防災センターはお客様施設の火災等の監視や防災機器の制御を行います。防災機器の監視・制御は火災等発生した際に人命を守る、とても重要な業務になります。機器の知識はもちろんのこと、円滑に対応するため日頃から警備隊としてチームワークやスキルアップの訓練は欠かせません。SPDでは防災技能に関する資格を積極的に取得し、日々知識と技術の向上に努めています。また、消火器やAEDなどを実際に使用した訓練を積み重ねながらスキルアップと危機管理意識を高めるための教育を行なっています。



出入管理・受付業務

不審者、不審物、不審車両等、お客様施設への入館の必要性を判断するため社員証の提示や、来客のアポイントメント確認、入退室管理を行います。必要性に合わせて不正な持ち込み・持ち出しがないよう手荷物検査を実施します。SPDでは受付業務において接遇が重要と考え、接遇マナー向上に向けた教育も取り入れています。

**立哨業務**

施設警備業務の主な業務の1つが立哨(りっしょう)です。立哨とはお客様施設の入口で不審者等の警戒監視を行うことです。主に立哨する場所として、オフィスビルや商業ビル、ホテルや美術館などがあります。一般的な立哨姿勢は警戒中と分かるような硬い表情で行うことが多いですが、SPDでは、来場者に対して「おはようございます」、「こんにちは」などお声掛けさせて戴くソフトな対応を取り入れています。

**各種設備の一次対応業務**

各種設備機器に異常が発生した際は、速やかに現場確認をし、必要な措置を講じるとともに各関係機関へ報告を行います。SPDでは迅速に対応するため日頃から各種設備の位置・状態を把握し、定期的に訓練を繰り返しています。

**駐車場管理業務**

お客様施設の駐車場において車両による事件・事故等を防止するため車両誘導や巡回を行います。主な対象施設として、商業施設や食品スーパー、工場や倉庫などの大型施設などがあります。お客様施設では駐車場所への案内誘導や車両出入口での誘導をすることにより場内外における歩行者・自転車等の安全を確保することが出来ます。また、駐車場内を巡回することにより場内で発生しているトラブルや事件・事故を早期に発見し未然に防ぐことが可能になります。SPDでは、来場者には、「気持ち良くご利用いただけるように」笑顔の誘導を心がけております。

**駐輪場整理業務**

駐輪場をスムーズにご利用頂くために案内や駐輪場スペースの整理を行います。SPDでは来店したお客様が最初と最後に出会うのは警備員であるということを意識し、お客様が再度ご来店頂ける様な笑顔の挨拶を心掛けています。



02

EVENT / TRAFFIC SECURITY BUSINESS
イベント・交通誘導事業

サッカー、ラグビーワールドカップやオリンピックなどの大規模国際スポーツイベントから、国体・大規模花火大会など多くのお客様が集まる会場の安全の確保とスムーズな開催を支援します。テロの危険だけではなく、混雑している場所の安全確保など、お客様が安心して楽しめるイベント開催のお手伝いをします。計画段階から危険の予測、様々なことを想定し関係機関との調整も行います。来場者数や輸送力の検討、周辺への影響等を洗い出し対策を行います。浦和レッズ、大宮アルディージャのホームゲームの警備を担当し、鉄道事業者、バス事業者等とも協力し、お客様に安全を提供しています。

イベントにおける警備計画の立案

大規模イベント開催時には、警備計画の立案から実施します。会場周辺の情報収集や、イベントの性格に応じ最適な警備計画を策定します。会場の立地や来場者の数、様々な条件によってリスクは変化します。柔軟な考え方で計画から実施までをサポートします。



各種イベントにおける雑踏整理

雑踏の危険性は群衆が動き出すとき、止まるときに発生します。スムーズな動線の確保と、ボトルネックの予測と排除が必要になります。合理的な動線の設定と危険個所の排除、タイムリーな広報により危険を取り除きます。



車両の安全誘導

イベント会場の車両誘導では、関係者の車両チェック、来場者の駐車場への誘導があります。限られた駐車場を安全に効率よく案内し、渋滞など周辺交通への影響を最小限にとどめます。混雑している会場周辺では、歩行者・自転車・バイク等の動線をしっかりと把握し安全管理を行います。



交差点、横断歩道等での歩行者の保護

混雑しているイベント会場の周辺では、歩行者・自転車等の安全確保が必要です。楽しいイベントへ向かうお客様の楽しい気持ちをいっしょに盛り上げます。もちろん安全の確保が最優先となります。気持ちよくご協力が得られるようにコミュニケーションを大切にします。

**新店舗におけるオープン警備**

大規模店舗のオープン警備では、スポーツイベントや花火大会のように開催時間にお客様が来場されるのではなく、開店時間や時間帯に様々なピークがあります。店舗の立地や特性、お客様の来場方法などの全体像を把握して警備を実施します。お客さまが楽しくお買い物ができるように、また近隣への影響も最小限にするよう配慮します。

**【主なイベント警備実績】**

1985年	つくばExpo '85
1993年	Jリーグ：警備開始
1998年	長野 冬季オリンピック
2001年	サッカー ワールドカップテストマッチ（日本代表vsイタリア代表）
2002年	サッカー ワールドカップ 埼玉会場
2004年	埼玉 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
2006年	愛知万博 Expo 2005
2006年	浦和レッズ Jリーグ優勝パレード
2007年	埼玉 高校総体
2010年	九都県市合同防災訓練
2013年	スポーツ祭 東京2013
2014年	長崎 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
2015年	和歌山 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
2016年	岩手 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
2017年	愛媛 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
2018年	福井 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
2019年	茨城 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会 ラグビー ワールドカップ 熊谷会場

03

CONSULTING BUSINESS
コンサルティング事業

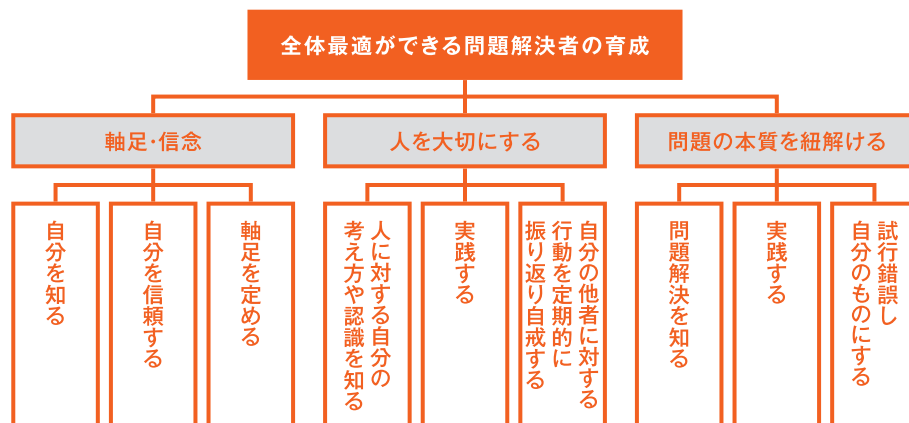
部分最適から全体最適へ

弊社のコンサルティングは、“軸足を定め、仲間を大切に、問題の本質を紐解き解決する”をコンセプトに設計しています。具体的な3本柱は、

- ① 事実データを分析した結果の業績を上げるための戦略立案
- ② それを支えるスキルやインフラの強化や構築
- ③ そして、企業を何としても変革したい! という強い推進力 です。

なぜ、この事象が起きているのか？を知るためには、事実を積み重ね、論理的にまとめ、結論を導き出すこと。過去の経験ではなく、データに基づき問題の根本原因を発見し、解決策を立案することで、成功確率が極めて高くなります。ただし、それだけでは不十分です。解決策が現実と乖離しすぎていたり、変革したいという意識がなければ、決して企業変革はなし得ません。

私達の強みは、全体最適のご提案です。その企業にとって何が一番ベストか事実データに基づき、そこから何が起きているのかを踏まえ、解決策をご提案させていただきます。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



会 社 概 要

会社名	SPD 株式会社（英文:SPD Co.,Ltd.）
本社所在地	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-1-1 朝日生命浦和ビル 1F
電話番号	048-834-0005
代表者	代表取締役 社長 高橋 慶彦
設立	1971年1月6日
資本金	8,000万円(2011年現在)
主な事業内容	警備業
従業員数	2,391名(2023年3月31日現在)
取引銀行	みずほ銀行/三井住友銀行/群馬銀行/埼玉縣信用金庫/ 埼玉りそな銀行
賠償保険	三井住友海上火災保険(株)/ニッセイ同和損害保険(株)
無線設備	SPDセキュRA専用周波無線(関東電波管理局認可)
加盟団体	(社)全国警備業協会/(社)埼玉県警備業協会/ (社)千葉県警備業協会/(社)東京都警備業協会/ (社)神奈川県警備業協会/東京商工会議所/横浜商工会議所/ さいたま商工会議所/川越商工会議所/
系列会社	株式会社 エスピーディー

事 業 所

さいたま支社	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-1-1 朝日生命浦和ビル 1F TEL.048-832-0005(常駐) TEL.048-832-3442(イベント事業部)
恵比寿 サテライトオフィス	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル7F TEL.03-6277-4260
東京東支社	〒130-0022 東京都墨田区江東橋3-7-8 日本生命錦糸町ビル3F TEL.03-6659-2531
東京西支社	〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-20-8 大樹生命三鷹ビル7F TEL.0422-27-7315
柏巡回センター	〒277-0843 千葉県柏市明原1-8-22 JMR柏ビル2階
横浜支社	〒231-0014 神奈川県横浜市中区常盤町4-54 りそな共栄社商事ビル3F TEL.045-305-6577
厚木巡回センター	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-24-13 第一伊藤ビル11階
熊谷支社	〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波2-48-1 大栄日生熊谷ビル6F TEL.048-501-1477
大阪営業所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-12-8 新大阪ローズビル 203号室

役員紹介

代表取締役 会長	樋口 長英
代表取締役 社長(CEO)	高橋 慶彦
常務取締役(CFO)	新木 匡
常務取締役(COO)	瀬戸 聡明
相談役	菅野 義明

沿革

1971年	1月	株式会社 SPD警備保障 創立
1980年	6月	横浜支社 開設
1983年	12月	東京南支社 開設
1985年	3月	つくばExpo '85：警備参加
1993年	5月	Jリーグ：警備開始
1997年	2月	千葉支社 開設
1998年	2月	長野 冬季オリンピック：警備実施
	10月	本社 移転
2001年	7月	サッカー ワールドカップテストマッチ(日本代表vsイタリア代表)：警備実施
	2月	千葉支社 移転
	4月	故 樋口恵二郎(社)埼玉県警備業協会会長に就任
	6月	サッカー ワールドカップ 埼玉会場：警備実施
2004年	9月	埼玉 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会：警備実施
2005年	6月	株式会社 SPDセキュリAに社名変更
2006年	9月	愛知万博 Expo 2005：警備参加
	12月	浦和レッズ Jリーグ優勝パレード：警備実施
2007年	7月	埼玉 高校総体：警備実施
2010年	2月	熊谷支社 開設
	9月	九都県市合同防災訓練：警備実施
2011年	3月	東日本大震災 東北復興営業所設置(現在は終了)
2014年	10月	横浜支社 移転
2018年	6月	東京東支社 開設
2019年	9月	ラグビー ワールドカップ 熊谷会場：警備実施
2020年	6月	熊谷支社 移転
	7月	SPD 株式会社に社名変更

MESSAGE

社長メッセージ

**社業を通して多くの仲間と出会い、
人財を育てることで社会に貢献したいと考えます。**

【安心安全は、わくわくだ。】というブランドスローガンをSPDが掲げて、新たなスタートを切ってから4年の月日が経ちました。

「警備」って、何かパツとしない、何をやっているんだろうというイメージもあるかもしれません。日々の生活の中で、「安心・安全」を意識することは少ないかもしれません。

工事中に事故が起きないように誘導をしたり、イベント開催時に混乱が起きないように案内をする。モニターを監視し、巡回を行なって対象施設に異常がないかを確認する。社会のインフラとして、当たり前のことが日々当たり前に続いていくために、なくてはならない仕事です。

「警備」の仕事は非常に範囲が広く、そしてとても重要なものだと思います。

社会のインフラとして、当たり前のことが日々当たり前に続いていくために、なくてはならない仕事であり、SPDは当たり前を持続していくために、この「警備」の仕事を、困難も「社員＝仲間」とともに乗り越えてきました。

昨今は、近年稀に見る伝染病・感染症の世界的流行など、我々を取り巻く環境も大きく変化し、社会的なリスクも多様化しています。

そんななかでも「人財」こそがSPDの財産であり、人と人のつながりこそが自社の成長の一番重要なものです。社業を通して多くの仲間と出会い、人財を育てることで社会に貢献したいと考えます。

私たちの仕事に近道はなく、日々の業務の積み重ねと、「社員＝仲間」一人一人の個性と弛まぬ努力が私たちの今を作りあげています。

安心安全な社会づくりに貢献するために、これまで以上に「警備の仕事」を推進していきます。

SPD 株式会社

代表取締役 社長 高橋 慶彦